

特定非営利活動法人どんぐり福祉会 沿革①

- 平成13年4月29日 第1回どんぐり福祉会設立準備会(上野平)※
知的障がい者の就労拡大を特徴とする会として発足。
- 6月23日 第2回どんぐり福祉会設立準備会(柿の木農場)
準備会の組織作り 福祉工場構想について 共同作業所の設立について
- 7月中旬 長野市より障害者等共同作業所の設立を先に検討するよう示唆を受ける。
- 8月22日 長野市に「共同作業所創設計画書」提出。
- 8月～9月 上記「設立計画書」に関する市のヒヤリング(質問とその回答)を受けながら設立の方向へ進める。
- 8月25日 第3回どんぐり福祉会設立準備会(柿の木農場)
長野市への提出書類の確認。
- 9月30日 第4回どんぐり福祉会設立準備会(柿の木農場)
共同作業所利用者募集について
- 10月 7日 第1回共同作業所利用者保護者の会(柿の木農場)
会の結成と今後の活動について 約40名参集(利用希望者と保護者)
- 10月12日 長野市に「共同作業所設立計画書」(市のヒヤリングにより訂正したもの)の提出保護者代表4名と鈴木、柿島
- 10月31日 長野市より「共同作業所調査票」提出の要請 即日FAXにて回答
- 11月18日 第2回共同作業所利用予定者及び保護者の会(上野平)
利用予定者、保護者、準備会員約50名参加
保護者会の名称を「どんぐり作業所つくる会」とする。
- 12月 4日 どんぐり作業所つくる会役員会開催(柿の木農場)
以後、毎月1回定例会として開催。

特定非営利活動法人どんぐり福祉会 沿革②

- 平成14年 1月中旬 作業所オープンに向けて福祉事務所、職安、養護学校、その他から利用希望者の紹介を受ける。
- 1月20日 作業所利用予定者等交流会(篠ノ井中央公民館)
- 3月～中旬 作業所の建設 鉄骨プレハブ造り
- 3月18日 どんぐり作業所プレ運営開始
設立当初の作業はえのき茸の選別 烏骨鶏(うこっけい)飼育が中心。
- 4月 1日 どんぐり作業所正式運営 学卒者4名加入 計9名 所長1名 指導員2名雇用
- 平成18年12月22日 特定非営利活動法人の認可を受ける。
- 平成19年 9月 1日 共同生活援助・介護 どんぐりの家開所(定員8名・実利用者7名)
- 平成20年 7月 1日 どんぐり作業所から就労継続支援B型どんぐりファームとして運営開始
(定員20名・実利用者16名)
- 平成22年 4月 1日 共同生活援助・介護 第2どんぐりの家開所(定員3名・実利用者3名)
- 平成23年 8月 1日 就労継続支援A型松代えのき工場ソラノシタ運営開始
(定員10名・実利用者8名)

※上野平:(株)清水製粉所有地(篠ノ井小松原中尾山山頂)烏骨鶏の養鶏場としてお借りしていた場所。